

岡本台病院

病院の概要

地域精神医療の基幹病院として、精神科一般診療やアルコール・薬物依存症の診療、デイ・ケアの実施をはじめ、自傷他害のおそれがある患者や休日・夜間の精神科救急患者等の積極的な受入れに努めるとともに、精神障害者の早期の社会復帰を促進しています。また、心神喪失者等医療観察法に基づく「指定入院医療機関」、「鑑定入院医療機関」及び「指定通院医療機関」として対象患者を受け入れています。

令和元(2019)年度の主な取組

- ◇ 「栃木県立岡本台病院経営改革プラン[第3次]」に基づき、患者さん一人一人に高度・専門的な精神医療を提供するとともに、更なる経営改善・業務改善に取り組みました。
- ◇ 令和2(2020)年1月に「岡本台病院地方独立行政法人化検討会」を設置し、経営形態の見直しに向けた制度設計等について検討を開始しました。
- ◇ 心神喪失者等医療観察法に基づく「指定入院医療機関」である病棟(第7病棟)においては、多職種チームによる手厚い専門医療の提供によって1名が入院治療プログラムを終了しました。
- ◇ 研修医や実習生等を積極的に受け入れるとともに、各種委員・講師等の派遣要請にも応じ、県内の精神医療を支える関係機関への支援を行いました。
- ◇ 医療安全管理室の専任担当者を中心として、院内における医療安全対策の強化に取り組みました。
- ◇ 令和元(2019)年10月、令和元年東日本台風で被災した精神科病院に、栃木県DPAT(災害派遣精神医療チーム)先遣隊として当院のスタッフを派遣し、支援を行いました。また、令和2(2020)年2月には、新型コロナウイルス感染症対策事業(帰国者支援)への派遣要請に応じ、自衛隊等と協力して業務に当たりました。
- ◇ 入院・外来患者及びその家族、地域事業所・自助グループ等の交流を通し、患者の社会参加への興味や退院への意欲向上を図るため、令和元(2019)年11月に岡本台病院ふれあいまつりを開催し、作品展示、地域事業所による模擬店出店、演奏発表、地域事業所等の紹介などを行いました。
- ◇ 利便性の向上や待ち時間の短縮のため、患者さんの希望に添った形で、薬の院外処方を推進しました。



病院外観(管理診療棟)



ふれあいまつり(作品展示)